



## 2022未来の学校ビジョン

1. シブヤモデルの実現（未来の学校に向けた学びの改革）
2. 安全・安心に挑戦できる環境
3. 働き方改革（何を減らし、止め、効率的にクリエイティブに行うか）

### 1-①シブヤ科

本校の子供たちを「水車の子」と呼んでいる。語源は、葛飾北斎の「隠田の水車」に遡る。校庭にある水車は、江戸時代に稲田川（キャットストリート）にかけられていた水車の模型で、学校のシンボルである。この水車から、「自然エネルギーを巧みに利用していた先人の営み」をリスペクトし、地域の自然と歴史を調べ、現在の自分たちの生活を見つめ直し、未来を切り拓く子供たちを育てていく。

#### 水でつながる学び

- 低学年生活科（水遊びで、水の感触・水圧・浮力を体感する。）
- \*生活科見学 野川公園で、湧き水の流れて水遊びをする。
- 中学年社会・理科・総合（渋谷・東京の地形、地面を流れる水）
- 高学年社会・理科・総合（流れる水の働きと水害、豊かな水資源）

#### 明治神宮の表参道からつながる学び

- 中学年社会・理科（代々木八幡宮、浅草仲見世商店街、地域の自然）
- 高学年社会・算数・理科・総合（5年で明治神宮調べ、6年鶴岡八幡宮日光東照宮の見学へ。明治神宮は新しく、科学的な根拠に基づく代々木の社（鎮守の森）が作られたことを知る。
- 5年算数「平均」の学習で学んだ「歩測」を使って、表参道の長さを歩いて求める。6年「江戸時代の伊能忠敬と伊能図」につなげる。

\*自然エネルギーを巧みに利用していた先人の営みからSDGsにつなげる。

### 1-②ICTでつながる学び

タブレットを道具として使い、学習者用デジタル教科書を効果的に活用した授業を行う。ファイルサーバーやTeams、ミライシード、OneNoteなどクラウドを活用した「ICTでつながる学び」を積極的にを行う。

プログラミング教育は、国語科の「情報の扱いに関する事項」主軸に各教科・領域の学びを関連付けて指導し、「プログラミング的思考力の育成」を目指す。4年生以上は、ローマ字入力や英語で学ぶプログラミングを行う。

ALTがオールイングリッシュで、スクラッチや3Dモデリング、回路の指導をするSTEAM教育を行う。

#### ICTを用いた豊かな表現力の育成

- 低学年生活科 学校のお気に入りや町探検をタブレットで撮影し、絵日記や模造紙にまとめる。
- 中学年総合 調べたことをオクリンクでつなげたり、パワーポイントでまとめたりする。
- 高学年総合 調べたことを共同編集して、ホームページで発信したり、動画でまとめたりする。

\*1月25日（水）「渋谷区教育委員会研究指定校」発表「自ら学びに向かう児童の育成」ちょうどよいICTの活用



### 神小6年間の「つながる学び」を通して、目指す児童像

自ら考え高め合う子 *Intelligence Aspiration*  
進んで実行する子 *Activity Responsibility*  
健康で心豊かな子 *Friendship Healthy life*

- ☆学びをつなげて考える子（教科横断的な学び、系統的な学び、生活体験とつながる学び）
- ☆チームで力を発揮する子（目標に向けて、一人一人の個性を生かした活動ができる。）
- ☆ICTを活用し情報活用できる子（情報収集・情報活用・情報発信・共同作業ができる。）
- ☆主体的な問題解決ができる子（問題意識をもち、解決に向けての探究活動が回せるようになる。）



### 2-①いじめのない学校づくり

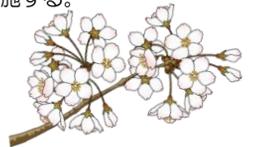
いじめのない学校づくりの基本は、すべての子の人権が守られ、教室に居場所があり、健康で心豊かな子を育て教育活動が行われることである。上級生が下級生の手本となり、リードすることで責任と自覚、尊敬と慈愛のある人間関係が形成され、全校児童が大きな家族のような関係になることを目指す。

- ・たて割り班活動「水車班活動」の充実。6年生による1年生のお世話。
- ・年3回のいじめアンケートの実施といじめ防止対策会議を充実させ、いじめの早期発見・対策をする。
- ・児童⇄担任連絡ツールや各種アンケート調査の結果などを活用して、児童の変化を見逃さないようにし、適切な指導を行う。
- ・心を育てる教育として、道徳を中心に人権教育を進め、人権意識を高める。また、道徳授業の指導・評価の改善を図る。
- ・子供の安心・安全を最優先に考え、無理のない教育活動の実施と着実な施設管理を行う。
- ・健康教育・食育・安全教育の充実。自分の体を知り、健康や命は自分で守る態度を養い、行動できるようにする。

### 2-②インクルーシブ教育

分かりやすい指示や説明のある授業、納得のいく生活指導は、発達に障害がある子だけでなくすべての子にとって学びやすい環境である。全校児童の学校生活が充実するように、授業改善や学校生活環境の改善を常に行っていく。

- ・特別支援教室専門員が対象児童の情報を一括管理し、管理職・担任・特別支援教室巡回指導員・スクールカウンセラーで情報共有を図り、スモールステップで指導に当たる。
- ・学校心理士・スクールカウンセラー・学習指導員・学習支援員・介助員・SAMとの情報共有を円滑に行い、個別最適化した指導・評価を実施する。



### 3 働き方改革（何を減らし、止め、効率的にクリエイティブに行うか）

コロナ禍で、「学校でなければならないこと」と「家庭や地域でできること」が明らかになってきた。「学校でなければならない」交流活動や体験活動を充実させる。校務や成績業務は、デジタル化を更に進める。そして、ビックデータの活用を行い、経験や勤に頼らないデータに基づく効率的な業務を行う。

- ・職務に対してコスト意識をもつ。文書管理・備品管理システムに従い、期日と時間を守り、全教職員が効率の良い仕事をする。
- ・学校が扱う情報をデジタル化して、分類・整理しながら蓄積する。デジタル情報を活用することで、個別最適化教育を推進する。
- ・通知表の改善を行う。学習評価や出席簿・健康診断などの情報と通知表の連携を強化する。また、「外国語と外国語活動」、「道徳」、「総合的な学習の時間」の所見をポートフォリオの要素を取り入れたものに改善していく。
- ・夏季プールを鍛錬の場から社会体育へ、徐々に位置付けていく。区主催の区民プール開放に協力していく。
- ・鼓笛隊の指導者やシブヤ科のゲストティーチャーなどの人材確保を学校運営協議会の協力を得て行い、活性化を図る。
- ・放課後の活動を放課後クラブ・地元企業・ALT運営会社などの協力を得て運営し、教員の負担軽減を行い、研修や教材研究の時間を確保する。



## 4. 沿革と原宿・表参道の移り変わり

- 大正12(1923) 東京府豊多摩郡穂原尋常小学校分教場ができる。  
4月26日に開校式を挙げる。この日を開校記念日に制定する。
- 昭和 5(1930) 豊多摩郡千駄谷第五尋常小学校と改称する。
- 7(1932) 東京市千駄谷第五尋常小学校と改称する。
- 14(1939) 東京市神宮前小学校と改称する。
- 16(1941) 東京市神宮前国民学校と改称する。
- 18(1943) 東京都神宮前国民学校と改称する。
- 21(1946) 東京都原宿国民学校を合併する。
- 22(1947) 東京都渋谷区立神宮前小学校と改称する。
- 35(1960) 10月22日 創立30周年記念式典を挙げる。
- 45(1970) 4月26日 創立40周年記念式典を挙げる。
- 55(1980) 10月25日 創立50周年記念式典を挙げる。
- 平成 2(1990) 12月 1日 創立60周年記念式典を挙げる。
- 12(2000) 水車小屋の屋根を葺き替える。  
11月11日創立70周年記念式典を挙げる。
- 17(2005) 校庭の人工芝化工事が完了する。
- 19(2007) 「神宮前国際交流学級」がオープンする。  
校門の改修が完了、「穂田物語」と名付ける。
- 22(2010) 屋上庭園「穂原空の森」が完成。  
10月30日 創立80周年記念式典を挙げる。新1年生より標準服を採用する。
- 25(2013) 校庭人工芝張替工事が完了する。
- 29(2017) 水車小屋(5代目)の茅葺屋根とポンプの改修工事が完了。
- 30(2018) 通常学級が12学級となる。神南小学校から日本語学級が移設される。  
6月22日「神宮前国際交流学級」が移転となり、お別れ会を行う。  
体育館棟に理科室・図書室・イングリッシュルームが完成する。
- 令和 1(2019) 体育館床改修工事が完了する。
- 2(2020) 外壁改修その他工事が完了する。  
12月12日 創立90周年記念式典を挙げる。
- 3(2021) 屋上プール改修工事が完了する。  
11月12日 「渋谷タブレットの日in神宮前小」発表会が開かれる。

- 明治39(1906) 原宿駅ができる。
- 大正 9(1920) 11月1日明治神宮と表参道ができる。
- 大正12(1923) 9月1日関東大震災が起きる。
- 昭和 3(1928) 明治通りが完成する。
- 昭和 7(1932) 渋谷町・千駄ヶ谷町・代々幡町が合併し、渋谷区ができる。
- 昭和16(1941) 太平洋戦争が始まる。
- 昭和18(1943) 東京都渋谷区になる。
- 昭和20(1945) 太平洋戦争が終わる。
- 昭和22(1947) 外苑中学校ができる。
- 昭和37(1962) 原宿中学校ができる。
- 昭和39(1964) 東京オリンピックが開かれる。
- 昭和46(1971) 代々木公園ができる。
- 昭和47(1972) 千代田線が開通する。
- 昭和52(1977) 歩行者天国が始まる。平成10(1998)に終わる。
- 平成 3(1991) 表参道イルミネーションが始まる。
- 平成 9(1997) 原宿外苑中学校ができる。
- 平成18(2006) 表参道ヒルズができる。
- 平成20(2008) 副都心線が開通する。



令和 2(2020) 明治神宮鎮座百年祭が行われる。

## 校歌

作詞 生田 蝶介  
作曲 松島 彝

一、明治のみかどとこしえに

鎮まりませる大宮の

森の緑にみめぐみの  
したたりうけし 学び舎よ

二、澄みわたりたる 大空の

広きを己が心とし

直く正しくいきぎよく  
日々を学びてわれらあり

三、秀麗の富士わが庭に

日ごと仰ぎてゆるぎなき  
玉なす心みがくべく  
国の栄えとわれらはげまん

葛飾北斎富嶽三十六景「隠田の水車」  
校庭にある水車は、江戸時代に穂田川  
(現在のキャットストリート) にかから  
れていた水車の模型で、学校のシンボル  
です。



明治天皇

明治神宮

明治神宮の杜(もり)

明治天皇の和歌

あきみどり

澄みわたりたる大空の

広きをおのが心ともがな

この和歌からいただいた歌詞